

株主通信

2019年4月1日～2020年3月31日
第2回定時株主総会決議ご通知

株式会社ベルテクスコーポレーション

証券コード：5290

株主の皆様へ

平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第2期の連結業績と第2回定時株主総会の決議内容等につきましてご報告申し上げます。

当期のわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続くなか、個人消費は昨年10月の消費税率引き上げの影響により一時的には減少となったものの、緩やかな回復基調で推移しました。一方、国内で相次ぐ自然災害の発生や米中貿易摩擦の影響に加え、新型コロナウイルスの感染拡大による影響が世界経済へ波及しており、先行きは今までになく不透明感を増してきています。このような情勢下、当社は製品の「選択と集中」、事業拠点の再編などにより効率化を推し進め、市場の変化に対応した製品の開発・供給体制の拡充に引き続き取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 土屋 明秀

第2回定時株主総会決議ご通知

当社第2回定時株主総会が下記のとおり開催され、報告ならびに決議されましたのでご通知申し上げます。

- 日時 2020年6月26日（金曜日）午前10時
 - 場所 東京都千代田区麹町6-6
スクワール麹町 3階会議室
 - 内容
報告事項
1. 第2期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第2期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）計算書類報告の件
- 決議事項
- 第1号議案 剰余金の処分の件
本件は原案どおり承認可決され、期末配当金につきましては、普通配当50円に特別配当10円を加え、1株につき60円と決定いたしました。
 - 第2号議案 定款一部変更の件
本件は原案どおり承認可決され、取締役会の監督機能を強化しコーポレート・ガバナンスの一層の充実を図るとともに、経営の効率性を高め迅速な意思決定を可能にすることなどを目的として、監査等委員会設置会社へ移行するため、監査等委員および監査等委員会に関する規定の新設ならびに監査役および監査役会に関する条文の削除を行うとともに、重要な業務執行の決定の委任に関する規定の新設等、定款の一部について変更を行いました。
 - 第3号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）4名選任の件
本件は原案どおり承認可決され、田中義人、土屋明秀、高根総、仙波昌の4氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
 - 第4号議案 監査等委員である取締役4名選任の件
本件は原案どおり承認可決され、花村進治、高山丈二、小池邦吉、曾小川久貴の4氏が選任され、それぞれ就任いたしました。なお、高山丈二、小池邦吉、曾小川久貴の3氏は監査等委員である社外取締役であります。
 - 第5号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬額設定の件
本件は原案どおり承認可決されました。
 - 第6号議案 監査等委員である取締役の報酬額設定の件
本件は原案どおり承認可決されました。
 - 第7号議案 会計監査人選任の件
本件は原案どおり承認可決され、四谷監査法人が選任され、就任いたしました。

以上

連結財務諸表（要旨）

(注) 当社は2018年10月1日にゼニス羽田ホールディングス株式会社（現ゼニス羽田株式会社）と株式会社ホクコンの共同持株会社として設立されました。設立に際し、ゼニス羽田ホールディングス株式会社（現ゼニス羽田株式会社）を取得企業として企業結合会計を適用しているため、前連結会計年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の連結経営成績は、取得企業であるゼニス羽田ホールディングス株式会社（現ゼニス羽田株式会社）の前連結会計年度（2018年4月1日～2019年3月31日）の連結経営成績を基礎に、株式会社ホクコンおよびその関係会社の前連結会計年度（2018年10月1日～2019年3月31日）の連結経営成績を連結したものになります。

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前期 (2019年3月31日現在)	当期 (2020年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	27,829	26,711
固定資産	15,739	15,335
有形固定資産	12,483	11,604
無形固定資産	172	152
投資その他の資産	3,084	3,578
資産合計	43,569	42,046
負債の部		
流動負債	16,058	13,256
固定負債	5,562	5,775
負債合計	21,620	19,031
純資産の部		
株主資本	20,571	21,753
資本金	3,000	3,000
資本剰余金	4,457	4,457
利益剰余金	16,815	18,506
自己株式	△3,701	△4,210
その他の包括利益累計額	1,377	1,224
新株予約権	—	36
純資産合計	21,949	23,014
負債及び純資産合計	43,569	42,046

連結損益計算書

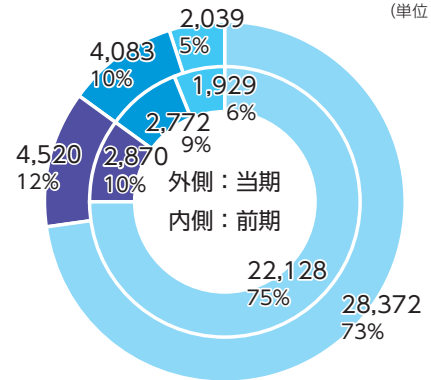
(単位：百万円)

科目	前期 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	当期 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	29,701	39,014
売上原価	22,655	28,867
売上総利益	7,046	10,146
販売費及び一般管理費	4,529	6,357
営業利益	2,516	3,788
営業外収益	294	298
営業外費用	116	128
経常利益	2,694	3,959
特別利益	4,204	201
特別損失	273	541
税金等調整前当期純利益	6,624	3,619
法人税等	690	1,283
当期純利益	5,934	2,336

事業分野別売上高

(単位：百万円)

- コンクリート事業
- パイル事業
- 防災事業
- その他事業



NEWS & TOPICS

コンクリート事業

超高強度繊維補強コンクリート ダクトパネルライニング工法（納品・施工）

東北農政局会津北部地区国営かんがい排水事業において、造成後30年ほど経ている土地改良施設の老朽化等による劣化の進行に伴い、農業生産性の維持ならびに農業経営の安定化に資するため2016年～2023年にわたる計画で改修事業が進められています。そのうち八方頭首工は、日中ダムを水源とする取水施設であり、幹線用水路を通じ受益地区へ用水を供給する重要な河川構造物です。調査、診断結果から特に転石による堤体・エプロン部の摩耗が著しく、改修計画において損傷部位に超高強度繊維補強コンクリートのダクトパネルを貼付けて固定する当社の工法をご採用いただきました。ダクトパネルの材料特性、パネル貼付工法の簡易性、工期短縮等の評価をいただき、東北地区では初めての実績となりました。



ダクトパネル施工中 全景



堤体・エプロン部



八方頭首工 全景

小学校校庭地下に巨大雨水貯留槽施設15,500m³を設置 水リスクに挑む！

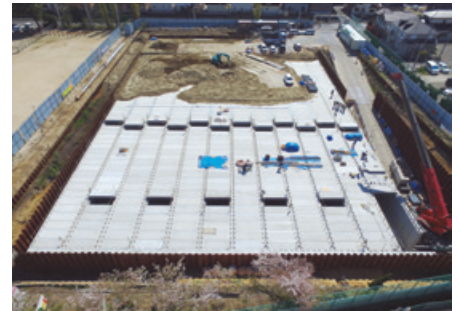
千葉県八千代市の浸水対策工事は開校中の小学校校庭地下に雨水貯留槽を設けるため、構築には短工期と耐震性、安全・安心が条件とされ、国内で最も施工実績があるプレキャスト遊水池工法が採用されました。柱・壁等1,422個の部材を工場で制作し、現地で組み立てる工事を行い完成後の地上はグラウンドとして使用、地下は周辺約29haからの雨水を一時貯水する雨水貯留槽として使用されます。現在、地下式雨水貯留槽のお問い合わせが急増しており、採用に向けて積極的にPRを行っていく方針です。



地表面下約7m 設置状況



側壁部材組立状況



約80m(縦)×約50m(横)×約4.5m(高)

大阪市北野海老江下水道幹線建設工事 BOX施工 (横引工法はエアーキャスター工法)

阪神高速淀川左岸線2期は、政府の都市再生プロジェクトとして位置付けられた「大阪圏の新たな環状道路（大阪都市再生環状道路）」の一部を構成する延長4.4km（大阪市此花区高見～大阪市北区豊崎）の道路新設工事で、その新たな道路建設に伴う下水管渠にBOXカルバートをご採用いただき、2019年4月～2020年2月に納品と施工を行いました。BOX施工にはエアーキャスター工法を併用し、BOXを空気を使い（ホバークラフトの原理）移動させながら施工を完了しました。製品規格は内幅1.8m×内高2.7m、同2.3m×2.3mで施工全長は、約1.1km（製品トン数：9,800t）。土被りが10mを超える特殊な条件の為、BOXの構造検討を行い現場条件に最適な特殊部材厚・特殊鉄筋による構造としました。



施工状況（エアーキャスター工法）



施工中（埋戻し前の片側延長状況）



BOX製品形状（重量16,500kg/個）

兵庫県企業庁 れいんポート13,000m³ 施工 (兵庫県最大のプレキャスト製オープン調整池)

企業立地の促進や雇用の創出など地域創生を推進する観点から、県内の産業団地の状況も踏まえ、兵庫県と小野市との共同により新たな産業団地の整備が進められている事業（ひょうご小野産業団地）で、事業期間は、2016～2021年度（予定）、全体の計画造成面積は、40.9haです。調整池は3箇所（その内2箇所が、プレキャスト製品）が計画されました。1号調整池は場所打ち（フィルダム形式）、2号・3号調整池がプレキャスト製品（プール式）で計画され、れいんポートをご採用いただきました。



施工中 全景（2号調整池）



2号調整池：製品高2.9m～4.1m
約11,350m³



3号調整池：製品高3.1m
約1,630m³

九州北部豪雨災害復旧工事に崩壊土砂防護柵を設置 土砂災害を防ぐ！

2017年7月の九州北部豪雨により甚大な被害を受けた福岡県朝倉市杷木松末地区は、豪雨による多くの斜面崩壊が発生しており、災害復旧工事の法枠工とともに崩壊土砂防護柵として施工性に優れた支柱二分割仕様のループフェンス・Eタイプが採用されました。信頼性が高い高エネルギー吸収型落石防護柵として用いられてきたループフェンスをベースに、ニーズを反映し改良を行い、落石対策工の他に崩壊土砂・土石流・流木対策工として多くの実績を積み重ねることで土砂災害危険地域の安全に貢献していきます。



作業台設置状況



二分割仕様支柱（柵高4.1m）



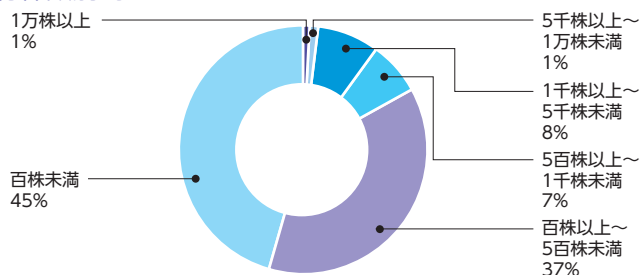
全景（赤谷川側より）

株式情報

株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数 46,000,000株
 発行済株式の総数 8,861,283株（自己株式を除く）
 当事業年度末の株主数 7,916名

所有株数別割合 (自己株式を除く)



大株主 (上位5名)

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
太平洋セメント株式会社	812,586	9.17
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	412,700	4.65
株式会社岩崎清七商店	241,735	2.72
株式会社りそな銀行	232,207	2.62
岩崎 泰次	228,000	2.57

所有者別割合 (議決権なし株主を含む、自己株式を除く)

所有者	株主数(名)	割合(%)
個人・その他	7,664	96.82
その他法人	142	1.79
外国法人等	62	0.78
証券会社、銀行・信託銀行、その他金融	48	0.61

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
 定時株主総会 毎年6月下旬開催
 基準日 定時株主総会・期末配当金 毎年3月31日
 公告方法 電子公告により行います。
 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告を行うことが出来ない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

ホームページアドレス <https://www.vertex-grp.co.jp>



株主名簿管理人 三井住友信託銀行株式会社
 同 連絡先 〒168-0063
 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 三井住友信託銀行 証券代行部
 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

- 未受領の配当金支払請求につきまして
 上記、株主名簿管理人（三井住友信託銀行 証券代行部）あてにお願いいたします。
- 住所変更などの各種お手続きにつきまして
 お取引口座のある証券会社あてにお願いいたします。
 {株主名簿管理人（三井住友信託銀行）ではお取扱いできませんので、ご注意ください}

会社概要

(2020年6月26日現在)

会社概要

社 名 株式会社ベルテクスコーポレーション
 Vertex Corporation
 本 社 〒102-0083 東京都千代田区麹町五丁目7番地2
 電話 03-3556-2801 (代表)
 設 立 2018年10月1日
 資 本 金 30億円
 主なグループ会社
 ゼニス羽田株式会社 株式会社ホクコン
 東北羽田コンクリート株式会社 株式会社ホクコンプロダクト
 北関コンクリート工業株式会社 株式会社M・T技研
 ゼニス建設株式会社 アイビーソリューション株式会社
 株式会社ハネックス・ロード ホクコンマテリアル株式会社
 株式会社ウイセラ ホクコントラスト株式会社
 株式会社ディーシー ユニバーサルビジネス企画株式会社

役員

代表取締役会長 田 中 義 人
 代表取締役社長 土 屋 明 秀
 取 締 役 高 根 総
 取 締 役 仙 波 昌
 取 締 役 (監査等委員) 花 村 進 治
 社外取締役 (監査等委員) 高 山 丈 二
 社外取締役 (監査等委員) 小 池 邦 吉
 社外取締役 (監査等委員) 曾小川 久 貴